

## ニッセイ インターネットアンケート ～「勤労感謝の日」について～

日本生命保険相互会社(社長:清水博)は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューの一つとして、ホームページ(<https://www.nissay.co.jp>)内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「勤労感謝の日」に関するアンケート調査を実施いたしました。

### 《アンケート概要》

- 実施期間：2023年10月2日(月)～10月11日(水)
- 実施方法：インターネットアンケート(「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニュー)
- 回答者数：10,408名(男性:5,184名、女性:5,081名、その他・未回答:143名)

＜年代別回答者数＞

[名]

年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
	男性	221	605	852	1,701	1,300	505
女性	349	790	947	1,612	982	401	5,081
合計	570	1,395	1,799	3,313	2,282	906	
占率	5.5%	13.4%	17.3%	31.8%	21.9%	8.7%	

### 《アンケート結果のポイント》

#### ポイント① 質問 1～2

#### 【仕事をする(選ぶ)上で重要なこと】

- 仕事をする(選ぶ)上で重要なことについては、「給料・待遇がいいこと」・「やりがいがあること」が1位・2位となった。
- どのような制度(福利厚生等)が整っている企業で働きたいかについては、「退職金制度」・「通勤手当支給」が1位・2位となった。
- 30代以下においては、約4割の方が「育児・介護支援(休暇・社内保育所・託児所など)」・「子育てに関する補助」を希望している。

#### ポイント② 質問 3～6

#### 【テレワークについて】

- テレワークの頻度については、「していない」と回答した方が83.1%となり、昨年度(78.2%)と比べて増加した。
- テレワークの頻度が昨年度より「減った」と回答した方が30.1%となった。
- テレワークが減ったことの影響として、「疲労感が増えた」と回答した方の割合が最も高かった。また、女性においては、12.8%の方が、「家事・育児を行う時間が少なくなった」と回答した。

#### ポイント③ 質問 7～14

#### 【対面・飲みニケーションについて】

- 「対面コミュニケーション」は、88.1%が「必要」と回答した一方、「飲みニケーション」については、「不要」と回答した方が55.2%と半数を上回った。
- 約7割の方が「飲みニケーションがある職場で働きたくない」と回答した。
- 今年度に「飲みニケーションがあった」と回答した方が34.1%となり、昨年度(14.3%)から大幅に増加した。

質問1 仕事をする（選ぶ）上で重要なことは何ですか？※複数回答可（回答者数：8,991名）

質問2 どのような制度（福利厚生等）が整っている企業で働きたいですか？※複数回答可  
（回答者数：8,844名）

- 仕事をする（選ぶ）上で重要なことについては、「給料・待遇がいいこと」・「やりがいがあること」が1位・2位となった。  
○「どのような制度（福利厚生等）が整っている企業で働きたいか」については、「退職金制度」・「通勤手当支給」が1位・2位となった。  
○30代以下においては、約4割の方が「育児・介護支援（休暇・社内保育所・託児所など）」・「子育てに関する補助」を希望している。

■仕事をする（選ぶ）上で重要なことは何ですか？

(%)

順位	内容	全体		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
		男性	女性							
1	給料・待遇がいいこと	52.6	52.9	52.2	62.4	64.9	58.3	54.6	38.2	27.1
2	やりがいがあること	51.6	56.8	46.0	48.3	45.6	49.5	53.0	55.3	57.3
3	人間関係	47.4	41.1	54.2	53.0	51.8	49.5	51.5	38.9	25.7
4	休暇が多い・休暇がとりやすい	29.8	25.9	34.1	37.6	37.8	33.5	30.0	23.3	8.1
5	長期間安定して働ける環境であること	29.6	28.3	30.9	25.6	32.1	31.7	33.1	24.1	16.8
6	通勤しやすい（職場が近い等）	27.6	20.3	35.8	23.4	27.3	28.0	29.9	27.1	19.2
7	自身の個性・能力が生かせること	22.4	25.1	19.4	18.2	21.0	21.6	23.3	24.5	19.9
8	残業が少ない	19.1	15.4	23.1	28.0	25.2	22.3	17.1	15.2	6.9
9	勤務体系（日数・時間）が自分の希望に合っている	18.0	13.4	23.1	16.6	17.4	19.4	17.4	19.6	13.4
10	転動がない（少ない）	16.7	17.0	16.4	21.7	22.5	17.6	16.7	12.4	7.6

■どのような制度（福利厚生等）が整っている企業で働きたいですか？

(%)

順位	内容	全体		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
		男性	女性							
1	退職金制度	62.8	66.5	58.8	65.3	66.4	66.8	67.7	52.3	42.2
2	通勤手当支給	60.6	59.0	62.4	62.7	64.9	63.5	64.1	54.3	34.5
3	医療・保険制度	44.5	45.1	43.9	40.9	42.1	42.7	46.9	46.3	40.0
4	住宅手当・家賃補助	40.0	45.2	34.2	54.4	52.4	43.3	39.5	28.5	22.6
5	（有給休暇以外の）休暇制度	35.9	32.4	39.8	43.1	38.8	37.1	37.8	31.2	20.1
6	家族手当	27.4	33.3	21.1	29.4	37.6	32.6	25.9	20.0	15.8
7	育児・介護支援（休暇・社内保育所・託児所など）	26.2	22.1	30.6	43.3	47.6	29.9	20.8	14.4	12.6
8	食事補助（社員食堂・無料ドリンクサーバーなど）	24.0	21.9	26.0	26.6	28.0	25.9	24.5	19.8	14.2
9	慶弔・災害見舞金	20.7	19.9	21.2	21.1	21.6	23.4	22.7	16.4	10.0
10	子育てに関する補助	20.0	18.5	21.6	40.3	43.8	26.8	11.6	7.8	6.8

**質問3 会社の出勤ルールは何ですか？** (回答者数：6,903名)

※パート・アルバイト・自営業・自由業・専業主婦・専業主夫・無職・学生・その他を除く

**質問4 現在、テレワークはどのくらいの頻度で実施していますか？** (回答者数：5,768名)

※パート・アルバイト・自営業・自由業・専業主婦・専業主夫・無職・学生・その他を除く

**質問5 テレワークの頻度は昨年度と比べてどう変わりましたか？** (回答者数：4,025名)

※パート・アルバイト・自営業・自由業・専業主婦・専業主夫・無職・学生・その他を除く

**質問6 <設問5で「減った」を選択した方への質問>**

**テレワークが減ったことによる影響は何ですか？** ※複数回答可 (回答者数：1,211名)

※パート・アルバイト・自営業・自由業・専業主婦・専業主夫・無職・学生・その他を除く

- 会社の出勤ルールについては、「原則出勤」と回答した方が65.2%となった。
- テレワークの頻度については、「していない」と回答した方が83.1%となり、昨年度(78.2%)と比べて増加した。
- テレワークの頻度が昨年度より「減った」と回答した方が30.1%となった。
- テレワークが減ったことの影響として、「疲労感が増えた」と回答した方の割合が最も高かった。また、女性においては、12.8%の方が、「家事・育児を行う時間が少なくなった」と回答した。

**■会社の出勤ルールは何ですか？**

(%)

内容	全体		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
	男性	女性						
原則出勤	65.2	62.4	72.1	66.4	67.2	63.8	63.8	50.0
特段指定なし	20.4	22.5	15.1	19.3	19.2	20.8	22.3	33.3
出勤日数が決まっている	7.0	6.3	6.6	7.0	7.2	6.3	7.6	14.1
テレワークできる日数が決まっている	4.9	5.8	4.8	5.2	4.1	5.8	3.8	1.3
原則テレワーク	2.6	3.1	1.5	2.2	2.2	3.3	2.3	1.3

**■現在、テレワークはどのくらいの頻度で実施していますか？**

(%)

内容	全体		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
	男性	女性						
していない	83.1	80.9	88.3	83.9	84.6	81.2	82.0	88.3
平均週1日	7.8	9.2	6.4	7.9	6.2	8.5	9.1	6.7
平均週2日	3.8	4.1	2.1	3.2	3.8	4.4	4.1	3.3
平均週3日	2.6	2.9	2.3	2.2	2.5	2.8	2.8	1.7
平均週4日以上	2.7	2.9	0.9	2.8	2.9	3.1	2.1	0.0

■テレワークの頻度は昨年度と比べてどう変わりましたか？

(%)

内容	全体		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
	男性	女性						
減った	30.1	32.5	22.3	25.0	29.1	33.8	32.1	40.0
変わらない	66.6	64.8	75.8	71.1	67.1	62.8	65.5	57.5
増えた	3.3	2.8	1.9	3.9	3.8	3.5	2.4	2.5

■テレワークが減ったことによる影響は何ですか？

(%)

内容	全体		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
	男性	女性						
疲労感が増えた	28.0	24.2	30.5	31.4	28.7	28.1	22.0	26.3
会社の人とのコミュニケーションが増えた	22.4	22.8	22.1	21.6	21.0	22.3	25.7	21.1
睡眠時間が減った	14.3	12.4	18.9	16.5	12.6	15.0	11.7	0.0
仕事が忙しくなった	14.2	14.0	14.7	18.2	16.1	14.3	7.0	10.5
運動不足が解消された	12.1	11.8	11.6	9.7	11.2	12.9	13.1	21.1
余暇の時間が減った	11.8	9.5	16.8	12.7	10.8	12.3	9.3	5.3
家族と過ごす時間が減った	11.6	12.4	4.2	13.1	16.8	10.7	8.9	5.3
仕事の効率が上がった	11.5	12.6	12.6	7.6	11.5	11.4	15.0	15.8
その他	9.4	9.2	9.9	5.3	4.7	9.4	10.2	5.3
家事・育児などを行う時間が少なくなった	7.4	5.3	12.8	9.5	12.7	10.5	6.0	0.9
外食が増えた	7.2	6.2	9.4	9.5	5.1	9.4	7.5	5.1
通信費・光熱費が安くなった	4.9	4.6	6.0	6.3	4.2	5.6	4.4	5.1
仕事前後の予定が減った	4.9	4.8	5.3	7.4	3.8	2.4	6.3	4.2
自己研鑽の時間が減った	4.2	3.7	5.8	5.3	5.1	3.8	4.3	3.7

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 井上 智紀いのうえ ともきのコメント>



どのような制度（福利厚生等）が整っている企業で働きたいかという質問への回答では、30代以下で「子育てに関する補助」が「育児・介護支援（休暇・社内保育所・託児所など）」とともに4割を超えて40代以上に比べ高くなっています。子育て支援に係る企業の支援策は、産前産後休暇や育児休暇など法定の休暇制度のほか、社内保育所の開設や保育事業者と提携する企業もみられるようになっていますが、結婚・出産を迎える前後の時期にある30代以下の世代では、経済的負担の軽減につながるような取り組みも求めていることがわかります。

テレワークの頻度は「していない」が8割を超えて突出して多く、昨年度に比べ3割が「減った」としています。その結果、出勤ルールは「原則出社」が6割を超えていることから、新型コロナウイルス感染症の感染症分類が5類に移行されたことに伴い、一部の企業を除いて働き方がコロナ以前へと回帰している可能性があるように思われます。

また、テレワークが減ったことの影響として、女性や30～40代で「家事・育児などを行う時間が少なくなった」が男性や他の世代に比べ高くなっていることは、子育て世代の中でも特に女性で、テレワークから出社に切り替わったことで負担が増している可能性もあるのではないのでしょうか。

- 質問 7 職場での“対面コミュニケーション”は必要だと思いますか？（回答者数：7,455名）
- 質問 8 <設問7で「必要」「どちらかといえば必要」を選択した方への質問>  
職場での“対面コミュニケーション”が必要だと思う理由は何ですか？  
（回答者数：6,567名）
- 質問 9 職場での“飲みニケーション※”は必要だと思いますか？（回答者数：7,400名）  
※お酒を飲みながら語り合い、親交を深めること
- 質問 10 “飲みニケーション”がある職場で働きたいですか？（回答者数：7,388名）
- 質問 11 今年度、職場の方との“飲みニケーション”はありましたか？（回答者数：7,488名）
- 質問 12 昨年度と比べて“飲みニケーション”の頻度は増えましたか？（回答者数：6,906名）

- 対面コミュニケーションは、88.1%が「必要」と回答した一方、  
飲みニケーションについては、「不要」と回答した方が55.2%と半数を上回った。
- 約7割の方が、「飲みニケーションがある職場で働きたくない」と回答した。
- 今年度に「飲みニケーションがあった」と回答した方が34.1%となり、  
昨年度（14.3%）から大幅に増加した。
- 「昨年度と比べて飲みニケーションの頻度が増えた」と回答した方が24.3%となった。

■職場での“対面コミュニケーション”は必要だと思いますか？

(%)

内容	全体		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
	男性	女性						
必要	88.1	88.6	90.7	87.1	87.7	88.4	88.7	81.1
不要	11.9	11.4	9.3	12.9	12.3	11.6	11.3	18.9

■職場での“対面コミュニケーション”が必要だと思う理由は何ですか？

(%)

順位	内容	全体		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
		男性	女性							
1	連携が取りやすいから	45.8	42.5	49.9	50.0	47.8	47.0	46.0	41.6	37.7
2	非対面より充実したコミュニケーションができるから	43.4	45.1	41.5	34.6	42.3	41.3	46.0	45.4	37.7
3	文字で伝えられない情報が伝わりやすいから	35.5	33.4	38.0	32.3	35.2	35.7	37.0	35.3	22.1
4	仕事の生産性があるから	35.1	37.0	32.8	32.5	35.7	36.0	37.0	32.0	26.0
5	仕事の悩みを相談できるから	29.3	28.2	30.8	41.7	36.8	32.2	27.3	19.2	27.9

■職場での“飲みニケーション”は必要だと思いますか？

(%)

内容	全体		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
	男性	女性						
必要	13.5	44.7	15.0	13.5	13.4	12.0	15.2	23.1
どちらかといえば必要	31.2		31.2	31.9	29.3	32.2	30.8	29.7
どちらかといえば不要	27.6	55.2	27.7	28.3	27.7	29.1	24.9	21.4
不要	27.6		22.9	26.3	29.6	26.8	29.2	25.8

■“飲みニケーション”がある職場で働きたいですか？

(%)

内容	全体		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
	男性	女性						
はい	32.6	40.7	35.4	32.0	31.2	31.2	35.0	46.2
いいえ	67.4	59.3	64.6	68.0	68.8	68.8	65.0	53.8

■今年度、職場の方との“飲みニケーション”はありましたか？

(%)

内容	全体		男性	女性	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
頻繁にあった	3.5	34.1	4.4	2.4	6.6	4.7	3.1	2.7	2.4	9.1
多少あった	30.6		35.3	25.0	41.7	35.7	30.5	28.9	27.1	19.9
あまりなかった	19.8	66.0	22.7	16.3	17.5	17.4	20.4	21.7	19.1	11.8
なかった	46.2		37.5	56.4	34.3	42.2	46.0	46.7	51.5	59.1

■昨年度と比べて“飲みニケーション”の頻度は増えましたか？

(%)

内容	全体		男性	女性	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
増えた	24.3		26.2	21.9	29.8	26.9	25.8	24.4	18.5	19.4
減った	12.6		13.3	11.8	8.1	14.3	13.3	12.3	12.1	14.4
変わらない	63.1		60.5	66.3	62.1	58.7	60.9	63.3	69.3	66.3

質問13 <設問9で「必要」「どちらかといえば必要」を選択した方への質問>

その理由は何ですか？ ※複数回答可（回答者数：3,307名）

○飲みニケーションが「必要」「どちらかといえば必要」と回答した理由として、「本音を聞ける・距離を縮められるから」と回答した方が全体の16.7%となり、最も多かった。次いで、「仕事の悩みを相談できるから」が12.7%となった。

■職場での“飲みニケーション”が必要だと思う理由

(%)

順位	内容	全体		男性	女性	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
1	本音を聞ける・距離を縮められるから	16.7		19.3	12.4	19.3	14.6	16.3	16.0	19.6	17.6
2	仕事の悩みを相談できるから	12.7		13.7	11.0	18.9	15.1	14.2	10.3	10.2	18.5
3	情報収集を行えるから	10.6		12.6	7.2	7.4	9.8	10.2	10.5	12.5	14.8
4	ストレス発散になるから	10.0		11.6	7.5	10.2	10.8	10.0	10.2	9.5	7.4
5	人脈を広げられるから	9.1		11.3	5.3	9.0	8.6	8.9	8.8	10.1	11.1
6	お酒が好きだから	5.9		7.5	3.2	8.6	6.8	6.3	5.0	5.5	6.5

質問14 <設問9で「不要」「どちらかといえば不要」を選択した方への質問>

その理由は何ですか？ ※複数回答可（回答者数：4,084名）

○飲みニケーションが「不要」「どちらかといえば不要」と回答した理由として、「気を遣うから」と回答した方は全体で19.8%と最も多く、次いで「仕事の延長とを感じるから」が15.0%となった。

■職場での“飲みニケーション”が不要だと思う理由

(%)

順位	内容	全体		男性	女性	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
1	気を遣うから	19.8		17.2	22.1	21.9	19.9	23.4	18.7	17.4	14.6
2	仕事の延長とを感じるから	15.0		13.4	16.4	14.0	16.0	15.8	15.1	14.4	8.7
3	お金がもったいないから	14.2		13.4	14.7	19.1	19.6	16.0	12.3	10.0	7.8
4	お酒が好きではないから	13.7		12.5	14.6	13.3	15.6	12.6	14.0	13.2	7.8
5	拘束時間が長いから	13.0		12.3	13.6	13.7	15.9	13.2	12.8	11.2	5.8
6	職場でコミュニケーションが十分取れているから	8.3		6.9	9.6	9.7	7.4	7.5	7.7	11.4	4.9

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 井上<sup>いのうえ</sup> 智紀<sup>ともき</sup>のコメント>

今年度に「飲みニケーションがあった」と回答した方は3割を超えており、1割台であった昨年度からは大幅に増加しているほか、おおむね4人に1人が「昨年度と比べて飲みニケーションの頻度が増えた」と回答していることから、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、飲みニケーションの機会が増えていることは間違いないようです。

ただし、対面でのコミュニケーションは「必要」とする方が9割近くに達しており、その理由としても「連携が取りやすいから」や「非対面より充実したコミュニケーションができるから」が多く挙げられている一方で、飲みニケーションは70代~を除く全ての層で「不要」が半数を超えて多くなっているほか、7割近くの方が「飲みニケーションがある職場では働きたくない」と回答していることは、仕事とプライベートの境界が曖昧になりがちな酒席の場について、既に世代を問わず仕事の時間以上の気遣いを要するなどのコストが「本音を聞ける」などの効用を上回るようになってきていることを意味しているのではないのでしょうか。

以上

2023-2905G, 広報部